



楽々亭通信

第9号
令和3年5月1日号

発行:NPO法人没イチの会・京都

楽々亭は第10回目を

開催いたしました

『大きな安心の中で』

本願寺派布教使

安堂芳雅

いつも私の拙い文章をお読みくださり、ありがとうございます。

編集の方からご依頼を受けたときは張り切って用紙に向かうのですが、毎回、締め切り翌日にしか原稿を送れません。

なぜ、決まって翌日なのか？と考えてみると、どうやら出産と同じで私には最後の一押しが必要で、それが締め切り日に届く一通のメールです。

「お忙しい中、いつもこちらの都合ばかりで、



無理を言って申し訳ありません。封入作業の都合上、〇〇日までにお願ひできますでしょうか。」

約束を守れない私に一言の責めもなく、反対に頭まで下げて下さる。

あらためて、人に許してもらいながら生きていくことを思い、感謝し、そんな方々と本年度も一緒に語り合えることをうれしく思います。

さて、今月ご紹介する仏さまの姿は、指と指の間にある、水かきのような金色の膜です。

水かきというと、「仏さまは河童の親戚？」と思われるかもしれませんが、これは「ひとりももらさず助ける。」という仏さま

まの決意が形となってあらわれたものです。

例えば私たちが水を両手ですくったとして、いくら頑張っても、まったくこぼさずに運ぶことはできません。けれど、袋のように水かきのある手で水を包めたなら一滴の水もこぼさず運べます。

仏さまは、その手の形でもって、「ひとりももらさずことなく、私が極楽浄土に連れていくから、安心してください」とおっしゃっているのです。

ですから私は仏さまの手の水かきを思うと、この身が包み込まれているような安心感に、うれしくなります。

うれしいといえば、先日

“バウ、バウ、バウ、バウ”

聞こえた鳴き声で、相当大的な犬に違いないと思

い角を曲がると、やはり、桃太郎がお供に連れていそうな、立派な犬でした。

何をそんなに吠えているのかと見れば、よちよち歩きの男の子が犬を指さし、キヤツキヤツキヤと話しかけています。

犬は、ぶるんぶるんと尻尾を振って、「バウ、バウ」

また男の子が何か言うとき、「バウ、バウ」と、まるでおしゃべりしているようでした。

「ああ、かわいいなあ」と思いながら通り過ぎたとき、その子を守るように抱え込んでいるお母さんの顔が見えたのです。

本当に幸せそうに微笑んでおられ、私はますますうれしくなって思わずスキップしそうになりました。

きっと仏さまはそんな私を、無邪気にはしゃぐ子を嬉し気に抱きかかえる母のように微笑んで見て

いてくださっていたように思います。

「どのいのちもみな、仏さまの手に包まれてある」誰ひとりももらさないおすくいの広さと深さにまた、大きな安心をいただきました。



楽々亭第10回に参加して

「善人なおもて往生す、いわんや悪人をや」の言葉がずっと分からなかったのですが、(善人)は強い人、自力で生きていく人、(悪人)は弱い人で自分の力では生きていけない人と教えて頂き、ああそうだったんだと、本来の意味がわかり、感動しました。

世の中ほとんどの人が弱く苦しんでいる人達なので、救われたと思います。

奥村文代

お釈迦様ってどんな人？とても興味深く聞かせて頂きました。何となく生きてきて、言葉では聞いたことはあるが、意味がわからないままが沢山あるんだと考えさせられました。

次回から歎異抄もいっぱい発見があるなあと楽しみにしています。

堀内収子



六月からのスケジュール

五月は楽々亭はお休みを頂きます。六月から「歎異抄」を読むという事にしていきます。

私達の人生で、幸せに暮らすには？ 楽に生きるには？ 楽に死んでいくには？ 色々考えることが多い中、「歎異抄」はどのように示してくれているのか。

唯円という親鸞聖人のお弟子さんが、親鸞聖人のお言葉を書き残したと言われている書ですが、この書は親鸞聖人の亡くなった後、余りにも親鸞聖人の教えと違ったことを言い出す人が多くなり、それに唯円さんが歎異を唱え、そうではない親鸞聖人はこのようにおっしゃったよと書き残された書です。

永遠のベストセラーと言われ、海外でもっとも美しい言葉で書かれた書だと評判の「歎異抄」を楽々亭で読んでまいります。

安堂芳雅先生の解説で読んでまいります。難しいところもあるかと思いますが、我々年寄頭が固くなっています。そこは人生経験豊富な方ばかり、そんな延長線で理解していければいいと。また、ボケ防止にと不遜な考えもあります。一年ぐらいかけて読み終わればと思っています。

興味のある方集まって下さい。お待ちしております。

川柳

混浴ね勇んで宿へ足湯のみ

遅いとは思いますが旅に発毛剤

順調に老化していると医者笑

ゴミの日は弱き女に戻る妻

娘よりペットの見合いすぐ

決まり 結婚は墓場でなくて修羅ば

かも 百までも行きそうな手相ど

うしよう

楽々亭第11回 5月の予定

5月22日(土)に開催を予定いたしておりました楽々亭を、緊急事態宣言の発出を受け、休会といたします。開催を楽しみにしておられた方には大変申し訳ありません。

楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都
住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328
MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。